

通告1番目、3番、山本重信議員、発言席から一問一答方式で質問願います。

山本重信議員。

○山本議員 おはようございます。郁青青クラブの山本です。

議長の許可を得ましたので、岩出市立小中学校全ての普通教室への空調設備設置について、質問をさせていただきます。

今議会において、岩出市市議会議員全員の署名により、小中学校全ての普通教室に空調設備設置の請願書を提出させていただきました。署名した議員を代表して、この件に関する岩出市としての姿勢を質問させていただきます。

地球温暖化の影響か、ここ数年の夏の暑さは、異常と言っても過言でない状態になっております。ことしの夏は、全国各地で40度を超える猛暑日も何日かありました。

そんな中で、愛知県豊田市において不幸な事件が発生したことは記憶に新しいところであります。この事件発生から、政府において、菅官房長官から全国の小中学校の普通教室への空調設備設置を支援していくと表明がありました。全国の普通教室の空調設備設置率については、2017年で49.6%であり、約半数となっており、都道府県によっても大きな差があると言われております。

和歌山県では、小学校で69.3%、中学校で72.6%となっており、昨年度と比較して、設置率が高くなっております。

岩出市においては、保健室、音楽室や図書室等の特別教室には設置されているものの、普通教室の空調設備は未設置となっており、今年度の市政懇談会においても、空調設備の設置を求める声が各地区で出ていたと聞いております。

先日の新聞で、秋の臨時国会で空調設備を含む公立学校施設に対する補助の予算案を大幅に上程すると出ておりました。

岩出市としても、この機会を捉え、補助金の獲得に努めていただき、市内小中学校の全ての普通教室に空調設備を設置していただき、児童生徒の健康で快適に学べる環境の整備に努めていただきたいと思います。

こういった現状の中、請願書の趣旨に基づき、岩出市としては、小中学校の全ての普通教室に空調設備を設置することについて、何点か質問をさせていただきますので、誠意ある答弁をお願いをいたします。

まず1点目、学校施設関係では、空調設備を含めて、老朽化対策等、多額の費用が必要となると思いますが、私は健全財政を確保していくためには、補助金、交付金等の財源確保は不可欠であると考えています。文部科学省の学校施設に対する補

助金等の現状はどうなっているのか、お聞きをいたします。

2点目、子供を育てる親としては、今回の豊田市の事件には大きなショックを受けていると思います。恐らく、岩出市の各議員にも保護者から問い合わせや要望がたくさんあったものと思います。私は、ことしのある地区の市政懇談会に出席しましたが、そこでも保護者と思われる方から要望が出されておりました。ここ数年の間、市民の皆様からの空調設備設置に対する意見や要望はどれだけあったんでしょうか、お聞きをいたします。

最後に3点目ですが、これまでの岩出市教育委員会として、空調設備設置に関してどのような取り組みをされてきたのか。また、今後の取り組み方針について、具体的な方針があればお聞かせください。

以上3点、よろしく答弁をお願いします。

○吉本議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 皆さん、おはようございます。

山本議員の一般質問、岩出市立小中学校全ての普通教室へ空調設備設置についての3点目、これまでの取り組みについてをお答えをいたします。

空調設備にかかわらず、施設整備については、議員の御指摘にもありましたように、健全財政を堅持していくためには、補助金、交付金等の財源確保は不可欠であるというのが基本的な考え方であります。

これまでの取り組みとしましては、学校施設の関係では、国の補助金を活用しながら耐震化対策、老朽化対策、トイレ改修等を実施してまいりました。また、市民プールについても、今年度、補助金の採択をいただき、新プールの建設を進めているところであります。

空調設備の設置については、今後の取り組み方針ですが、基本的な方針といたしましては、国の補助金を活用して、中学校2校、小学校6校の全ての普通教室に空調設備を設置していく方針であります。

その他の質問については、担当部長からお答えさせます。

○吉本議長 教育部長。

○湯川教育部長 山本議員の1点目、財源の確保についてであります。まず、議員ご指摘のとおり、社会保障費が年々増加している中、健全財政を堅持していくためには、自主財源はもとより、国、県等の補助金、交付金などの財源確保、特に施設整備には大きな予算が必要となりますので、補助金、交付金の獲得は不可欠なもの

と認識してございます。

文部科学省の学校施設に対する補助金の現状についてお答えいたしますと、公立学校施設整備費、当初予算額の平成10年度から平成30年度までの20年間の推移を見てみますと、平成10年度の当初予算額は1,731億円、平成23年度で805億円と1,000億円を下回り、平成30年度では682億円となっており、20年前と比較いたしますと、約3分の1に減額されてございます。

また、この間、補正予算も計上されておりますが、平成24年度からは東日本大震災復興特別会計やその他の全国の被災地に対する支援が優先されてきたのが実態であると聞いてございます。

そんな中において、本年6月6日、全国市長会において、これまで校舎や体育館の耐震化を優先的に進めてきたが、築40年以上の施設が多数あり、今後、新增築、老朽化対策等に係る事業費が増大していく。また、空調設備、トイレ改修、給食施設整備等についても早急に事業を進める必要がある。

国は、公立小中学校施設の実態を踏まえ、速やかに子供たちの教育環境の改善を図るとともに、安全・安心の確保を図る観点から、積極的な措置を講ずるよう強く要望するとして、1点目として、新增築、老朽化対策、空調設備、トイレ改修、給食施設整備等の事業を計画的に実施できるよう、当初予算において必要額を確保すること、対象事業の拡大や補助率の引き上げ等の財政措置の拡充、2点目に、平成30年度において補正予算による十分な財政措置を講じること、速やかな事業執行ができるよう早期内示に努めることを決議し、関係省庁に要望しているとのことでございます。

2点目の市民からの要望状況についてですが、直近の市政懇談会では、平成29年度では要望はありませんでしたが、平成29年度では、事前要望が3件、会場での意見が1件ございました。平成30年度では、事前要望が3件、会場での意見は6件ということでございます。

3点目のこれまでの取り組みについてであります。先ほど市長がお答えしたとおりであります。空調設備の整備については、数年前から夏休み期間の短縮を前提に、文部科学省と協議を重ねてまいりましたが、国の採択基準において、空調設備の優先順位が低いのか、あるいは国の補助枠が限られていることもあり、厳しい状況が続いていたというのが実情でございます。

今後の取り組み方針についても、先ほど市長がお答えいたしました。空調設備の整備について、国が全ての費用を負担してくれるわけではございません。学校施

設については、ほかにも多額の費用を要する事業がございますので、補助金などの財源確保とほかの事業とのバランスも考慮して進めてまいります。

設置スケジュールにつきましては、補助金などの採択が決定していない現状において、具体的なお答えはできませんが、可能な限り早期設置に取り組んでまいります。

○吉本議長 再質問を許します。

山本重信議員。

○山本議員 議員全員の請願に応じていただけるという答弁をいただき、ほっとしていますと同時に、私たち議員としても大変喜ばしいことでもあります。請願を出している手前、余りしつこく聞くのもいかなものかと思っておりますので、最後に1点だけお聞きをいたします。

空調設備を設置することによる影響についてです。設置費用は膨大なものになると思いますが、設置するだけでなく、当然のことながら、電気代、維持管理に係る費用とランニングコストもかかってきます。また、空調設備を設置している市町村では、工事のため、夏休み等の期間も見直しています。ほかにもいろいろな影響が出るものと思いますが、どのような影響等を想定しておられるのか、現段階で想定していることがあれば聞かせてください。

その中において、もし困難と思われるようなことがあれば、私たち議員として、全力で応援していきたいと考えておりますので、全ての普通教室への空調設備の円滑かつ早期の設置をお願い申し上げまして、再質問とさせていただきます。

○吉本議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

教育部長。

○湯川教育部長 山本議員の再質問にお答えいたします。

空調設備設置に係る影響についてのご質問です。

空調設備については、電気、ガスなど、さまざまな機種がありますが、設置費につきましては、電気での概算では、1校で約1億円、8校で8億円の事業と想定してございます。

設置後においては、電気使用料や維持管理に係る費用が必要となります。電気使用料について、関西電力株式会社に問い合わせてみましたところ、例えば、岩出第二中学校の現状の契約料金で試算いたしますと、平成29年度の使用料が438万3,608円です。空調設備を設置して、年間で400時間の稼働をいたしますと、電気使用料が43万9,702円ということで、約10%の増ということになるそうでございます。

平成29年度の小学校6校の電気使用料合計が1,499万3,090円、中学校2校で715万3,910円、小中学校合計いたしますと2,214万7,000円ということになります。約10%の電気料と試算いたしますと、2,436万1,700円ということになります。

また、夏休みなどの長期休業期間についてですが、空調設備の設置により最も影響が出るのは夏休みでございます。ほかの市の状況を見てみますと、和歌山市で7日、海南市で11日、新宮市で6日の短縮ということになってございます。ほとんどの市で夏休み期間を短縮するなどの措置がとられているということでございます。

いずれにしましても、授業日数との関係もありますので、休み期間についても十分検討していく必要があると考えておりますので、最終的には教育委員会に諮ってまいります。

その他空調設備設置に係るさまざまな影響につきましては、その都度対応してまいります。議員皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○吉本議長 再々質問を許します。

(なし)

○吉本議長 以上で、山本重信議員の一般質問を終わります。